

自分らしく、その人らしく、生き生きと、あなたの“生きる”を支えます
それでアブラハムはその所の名をアドナイ・エレと呼んだ。これにより、
人々は今日もなお「主の山に備えあり」と言う。(創世記22:14)

第2アドナイ館だより

4月号

第2アドナイ館のお庭でお花見。天気は良し！桜は満開！



2階のベランダからも
お花見ができます。

お花見もいりけど たけのこ!

はいきって見つけるわよ!



「ほら!そこにある!足んこ!」筍を見つけ大きな声で職員に教えてくれました。



イースター

4月10日に遠州栄光教会の星野牧師により、聖餐式が行われました。



イースターとは

復活祭とも呼ばれ、イエス・キリストが復活されたことを祝う日です。イースターは、「春分の日が過ぎた満月の日の後に来る日曜日」と定められているので、毎年日が変わります。今年のイースターは4月9日（日）です。この日にあわせて聖書に書かれている出来事をたどっていくと、最後の晚餐（過ぎ越しの食事）をしたのは7日（木）の夕方。その後、イエス様はオリーブ山へ登り、ゲッセマネの園で死が迫っている苦しみの中で祈った後、夜半に兵士たちに捕らえられ、8日（金）の夜明けを迎えます。ユダヤでは日の

入りから一日が始まります。この日の夕方には曜日が変わり安息日（天地を創られた神様が休まれた日を記念する日）に入ってしまう、十字架に死体を放置したまま安息日を迎えるわけにはいきません。そのため、どうしてもこの日の朝にイエス様を十字架に張り付けにし、日が沈むまでにその死体を墓に葬らなければなりません。もちろんこれは処刑する側の勝手な都合です。形だけの一方的な裁判によって、電光石火のごとくイエス様を十字架刑に処してしまいました。



しかし、週の初めの日曜日（9日）の朝に奇跡が起こったのです。イエス様を慕っていた婦人たちは、日が昇る前の薄暗い中、当時の習慣通りに墓を訪ねました。墓には円盤状の大きな石の扉がついているのですが、婦人たちが墓につくとその扉は開いていました。不思議に思いながら墓に入ると、白く長い衣を着た若者が座っているのが見えたので、婦人たちはひどく驚きます。若者は言いました。「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活され、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。「あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる」と。喜びいっぱい婦人たちは「喜びの知らせ」を弟子たちに伝えたのでした。



初めまして。よろしくお願いします。

4月より第2アドナイ館の施設長の任命されました古橋美恵子と申します。3月までは浜松十字の園におりました。私が浜松十字の園に勤め始めたのは20数年前になります。介護職員として働いており、たくさんのご利用者のご家族に出会いました。ご利用者と一緒に泣いたり笑ったり、ご家族の想いに泣いたり笑ったりしてきました。ご利用者に励まされ、ご家族に応援していただき今があります。第2アドナイ館でも、皆さんと晴れの日も雨の日も曇りの日も共に同じ目線で見たいと思っています。気づかないことは教えていただき、良い点は誉めていただければ幸いです。第2アドナイ館が幸せで包まれるために動いていけたらと思います。皆様、何卒お声がけよろしくお願いします。

4月の予定

歌の会	11・18・25日	防災訓練	24日
書道教室	27日	踊りの会	休止
移動図書館	12日	眼鏡相談	休止
美容室	20日		



第2アドナイ館苦情相談について

苦情受付時間	月～金 8-18
苦情相談窓口	相談員 永田昌代
苦情解決責任者	施設長 古橋美恵子
ご意見箱設置	各フロア・玄関ロビー
前月の苦情・ご意見件数	0件
苦情	0件
ご意見（要望）	0件

面会について

コロナ感染の対応も変化してきていますが、面会はこれまでと変わらず様子を見ていきます。

- * 面会場所：ロビー（原則、お部屋には入れません）
- * 時間：10:00～11:00、14:00～16:00 15分
- * 必ずお電話等にて予約を入れてください。（連絡なしで来られた場合、お断りすることがあります）
- * マスク着用 *3名以下 *飲食不可
- * 体調のすぐれない方、またはそのような方と接触のある方は、面会できません

◇感染状況は依然警戒レベルです。
感染リスクの高い行動（人混みに出る機会が多いなど）をされている場合は、面会をご遠慮ください。

2023年4月15日 第165号

第2アドナイ館だより

〒433-8105
 浜松市北区三方原町3014-1番地
 電話 053-582-8181
 FAX 053-420-0456
 発行 社会福祉法人 十字の園
 発行責任者 施設長 古橋美恵子